

令和3年度 第2回河原地域振興会議議事概要

日 時 令和3年5月31日（月）13時30分～15時00分

場 所 河原町総合支所 大会議室

〔出席委員〕

竹田賢一、小谷加代子、谷山吉雄、中村佳紀、林 昭男、楮原典子、下田祥悟、坂本綾子、奥谷仁美（順不同）

〔欠席委員〕

河毛 寛、有田直政、山縣恒明

〔事務局〕

九鬼支所長、森田副支所長兼地域振興課長併教委分室長、岡本産業建設課長、浜部市民福祉課長、吉田地域振興課課長補佐、平田政策企画課課長補佐

〔オブザーバー〕

山田議員、荻野議員

〔傍聴者〕

なし

会議次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
 - (1) 旧本庁舎等跡地の活用について
 - (2) 新市域振興ビジョンについて
- 4 そ の 他
- 5 閉 会

議事概要

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
 - (1) 旧本庁舎等跡地の活用について
(平田課長補佐が資料に沿って説明)
(委 員) 規模によって組み込める機能が変わってくる。規模がわからないと機能の絞り込みができないのではないかと。

- (事務局) すべての機能は網羅できません。一つの機能でもよいし、複合案でもよいです。今後の財政見通しも勘案しながら、ワークショップや市民アンケートで絞り込んでいきます。
- (委員) 若手が戻ってきて、賑わいを取り戻す、いろんな人の意見を取り入れるためには、市長の手腕、気構えがいる。
- (委員) 入れ込む予定の防災・減災機能とはどのようなものか。
- (事務局) 耐震性はもちろんのこと、避難所となりうるものです。
- (委員) 標高は高くないはずでは。
- (事務局) そのとおりです。浸水区域に当たっていますので、水害の場合においては、オープンスペースを避難所として活用するのは困難ですがそれ以外の災害には活用可能です。
- (ワザバー) 市民会館の駐車場が不足していることも機能の絞り込みを難しくしている要因の一つだ。
- (事務局) 建設年度が同様の文化施設（福祉文化会館・文化センター）も合わせた文化施設のあり方については、委員会を立ち上げて検討しています。今現在はそれらと切り離れた形で議論していますが、今後は、この文化施設のあり方の検討の進展具合により連動させることもあります。
- (委員) まちなかの駐車場の数は少ない。鳥取は車社会のため、市役所本庁舎は無料化したほうが周辺の様々なお店などが利用しやすくなるなど活性化につながる。また、施設のキャパシティーに合わせた駐車場の数を確保すべき。当面は駐車場や広場等にして、後々必要に応じて施設を建てるという考え方もある。また、NHKの移転話もあったと思うが、本庁舎の跡地を活用してもらうのはよいことだ。
- (委員) 人口が減っていく中で、必要な施設の規模などを考えていく必要がある。
- (事務局) 本市では、学校や公民館、文化施設など公共施設の「公共施設再配置基本計画」を策定し、施設の「選択と集中」を行い、29%減らすという目標を掲げています。
- (委員) 駐車場の整備はよいことだが、犯罪の温床にもなりかねないため、きちんとした管理が必要だ。
- (委員) 6月のワークショップでは再配置計画に基づいた説明をされるのか。
- (事務局) 説明をしたいと思います。
- (委員) 中山間地域の高齢者もくつろげる施設になることを期待したい。

(2) 新市域振興ビジョンについて

(森田副支所長及び吉田課長補佐が資料に沿って説明)

- (委員) あゆのまち河原の表記がない。千代川のあゆの話題が少ない。いつ放流しているのか、していないのかもわからない。
- (事務局) 今月、西郷小学校で放流の計画があるようです。
- (委員) ハングライダーは飛んでいるのか。
- (事務局) 飛んでいるようですが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり少なくなっている

かもしれません。

- (委員) 霊石山に上がる道が一部狭くなっていたようだ。
- (事務局) 毎週点検していますが、普通の車が通行するには支障ない状況です。
- (委員) 城山へ上がる道はどうなっているのか。
- (事務局) 測量に入ったところですよ。(ほかの亀裂確認をするためです。)
- (委員) 三滝溪へ上がる道はどうか。
- (事務局) 現在、作業道をつけたところですので一般の方はまだ通行できません。
- (委員) 八上姫売沼神社の整備に関する会議は月1回行われることになっていなかったのか。
- (事務局) 総会は年に1, 2回となっていますが、看板やプロモーションビデオ作製などの検討のためのワーキンググループは月1回程度行われています。
- (委員) 地元でも草刈り・掃除など頑張っているところだ。
- (委員) 観光協会でも6月をめどに草刈りの日程調整中です。
- (委員) 地区公民館の指定管理を地元(地域)が請け負うことを市として進めていくということか。
- (委員) そうではありません。地域によって考え方が様々ですので、あくまで地域の方で希望された場合ということになります。まち協と公民館の補助金の一括交付は進めていきます。
- (ワザバー) すでに地区公民館の指定管理を行っている佐治は、一つしか地区がないので、まとまりやすいという地域特性がある。議会の方でも、まずは地域の実情をしっかりと重視するよう念押ししている。
- (事務局) まち協の法人化をしないと民間等の様々な補助金を受け入れできないなどの制約もあります。
- (委員) 指定管理にすることでプラスの面も多くあると思うが、地区公民館はそもそも教育施設なので、やりづらい面もある。
- (委員) 多極ネットワーク型コンパクトシティは、前からあるのか。
- (事務局) あります。
- (委員) 新たに河原町全域が過疎地域に指定されたので、事業計画等よろしくお願ひしたい。
- (事務局) 現在すでに決定されている事業を入れ込むという手法もありますし、全体として将来を見込んだ事業計画を入れ込む手法もあります。
- (ワザバー) 過疎債が借りられることとなるので、財源的に有利となる。
- (事務局) コミュニティセンターの耐震改修・新築などにも使えます。
- (委員) 河原地域の「現状と課題、目指す将来像」のところに学校統合のことは入れないのか。
- (事務局) まだ方向性が決まっていないので、記載はしていません。
- (委員) 「河原町の未来を語る会」でも昔からいろいろと活動をされておられるが、「青谷学」や鹿野地域の「荒鷲科」が出来たように、目に見える形での成果があるとよいと思う。

(事務局) 校長会など機会を設けて検討してみたいと思います。

4 その他

(事務局) 次は、南部地域ブロック会議となります。8月の盆明けを予定しています。

5 閉会